

第84回 惣菜のわかる八百屋塾

Spring 2023

「惣菜のわかるオヤジの欧州視察記」



FRUXグループ代表 黒田久一

1. 欧州視察で体感したこと

1. 物価高
2. ハードディスカウンターの台頭 / ALDI、LIDL
TESCO、Sainsbury's によるプライスマッチ
新業態 Swift
3. BIO オーガニック市場の拡大
4. デジタル化が進む
5. 市場を歩く / ランジス市場、マルシェ他

1.物価高

【PAUL にて朝食】

・クロワッサン2.4ポンド・カフェラテ3.2ポンド

1ポンド×@170円 つまり、一人前でクロワッサン＋カフェラテで、約1,000円でした。



【デジタルが進む】

今回の旅、11日間滞在しましたが、一度もタクシーに乗る事なく、全て交通機関を使いました。

- ・ 地下鉄
- ・ 路線バス
- ・ 郊外列車

Googleマップで、

ご承知のように
現在地から行きたい先を叩くだけで、

交通機関、
例えば、バス停とバスの番号まで出て来ます。

今回、大活躍したのが、交通系カードです。

ロンドンのOyster card。

パリのNavigo Easy。



ロンドンのDouble deckerにも、難なく乗れました。

今回の旅、MaaSの可能性をあらためて感じます。(Mobility as a Service)

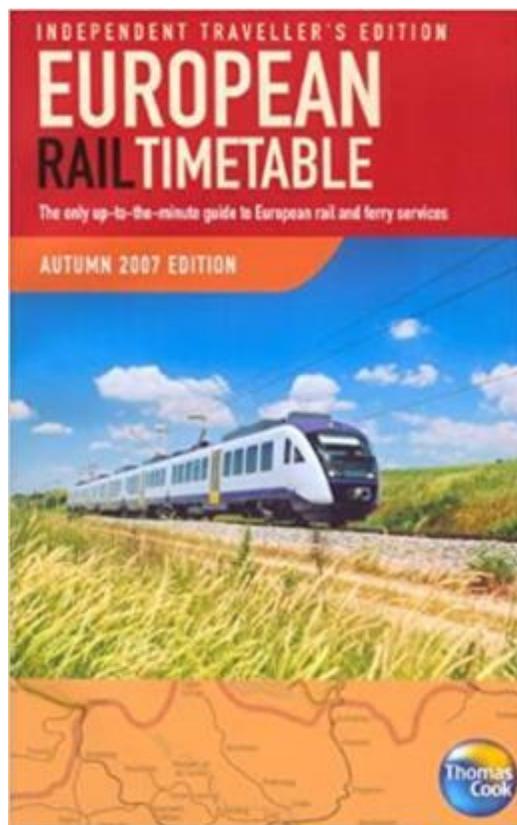
Googleマップ + 交通系カード。

まだまだMaaSは進化するでしょう。



昔は、
Thomas Cookの時刻表(有名なオレンジ本)が
ぼろぼろになるまで使いました。

旅の楽しみではありましたが、
やはり、手のひらの中でスマホと言う、
最強デバイスの威力を感じました。



Nando's (ナンドス) と言う
有名なチキンレストランに行きました。

ロティサリーチキンで有名です。
ロテサリーチキンのお店・Nando'sでは、

各テーブルにシールで貼られたQRコードをかざし、
スマホから注文し、
かつ、クレジットによる事前払いのみでした。

つまり、ノーキャッシュです。

だから、注文も聞きに来ない、

レジ精算も無い。

マクドナルドなら分かりますが、
テーブルサービスのレストランでも省人化。

チップ制度がかなり後退していると感じました。





2. 市場編／八百屋編

フランス

- ランジス市場

ロンドン

- ファーマーズマーケット
- バラマーケット

【ランジス市場】

フランス語で、
Marché d'Intérêt National de Rungis
(マルシェ・ドゥアンテレ・ナショナル・ドゥ・ランジス)

英語なら、インターナショナルマーケット。
つまり、「国際卸売市場」
実際、ランジス市場は、
世界中からの青果物が集積する。



つまり「ハブ市場」

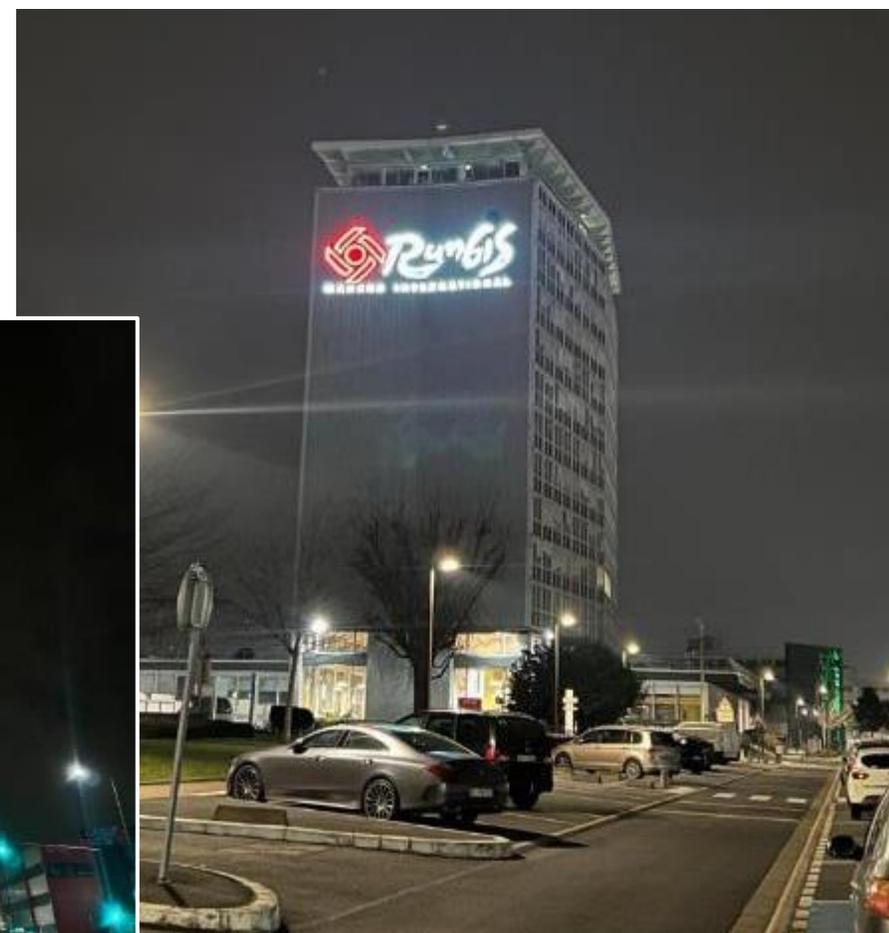
- ・ポルトガルのトマトも
- ・スペインのバレンシアオレンジも、
- ・トルコの果菜類も、
- ・ドイツのじゃがいもも、
- ・モロッコのインゲンも、
- ・エジプトのサツマイモも、

それどころか、
中南米の青果物も、

世界中から荷物が集まる。
ランジスの武器は
強力な「集荷力」(しゅうか)。

それを再配荷する。

この市場なら全てが揃う。



スポットライト

ランジス市場に来ていつも感じるのは、

- ・カラフル
 - ・明るい
- ことです。

そして、

「サンプル出し」をきちんとしている。

関西では「サンプル出し」のことを

「目切り」と言いますが、

今では、

日本のどの市場も多くの仲卸(弊社も)は、
量販対応に追われ、

「目切り」をする仲卸は少なくなりました。







2023/02/22

























2023/02/22



2023/02/22



エジプト産のサツマイモ







2023/0







花き売り場

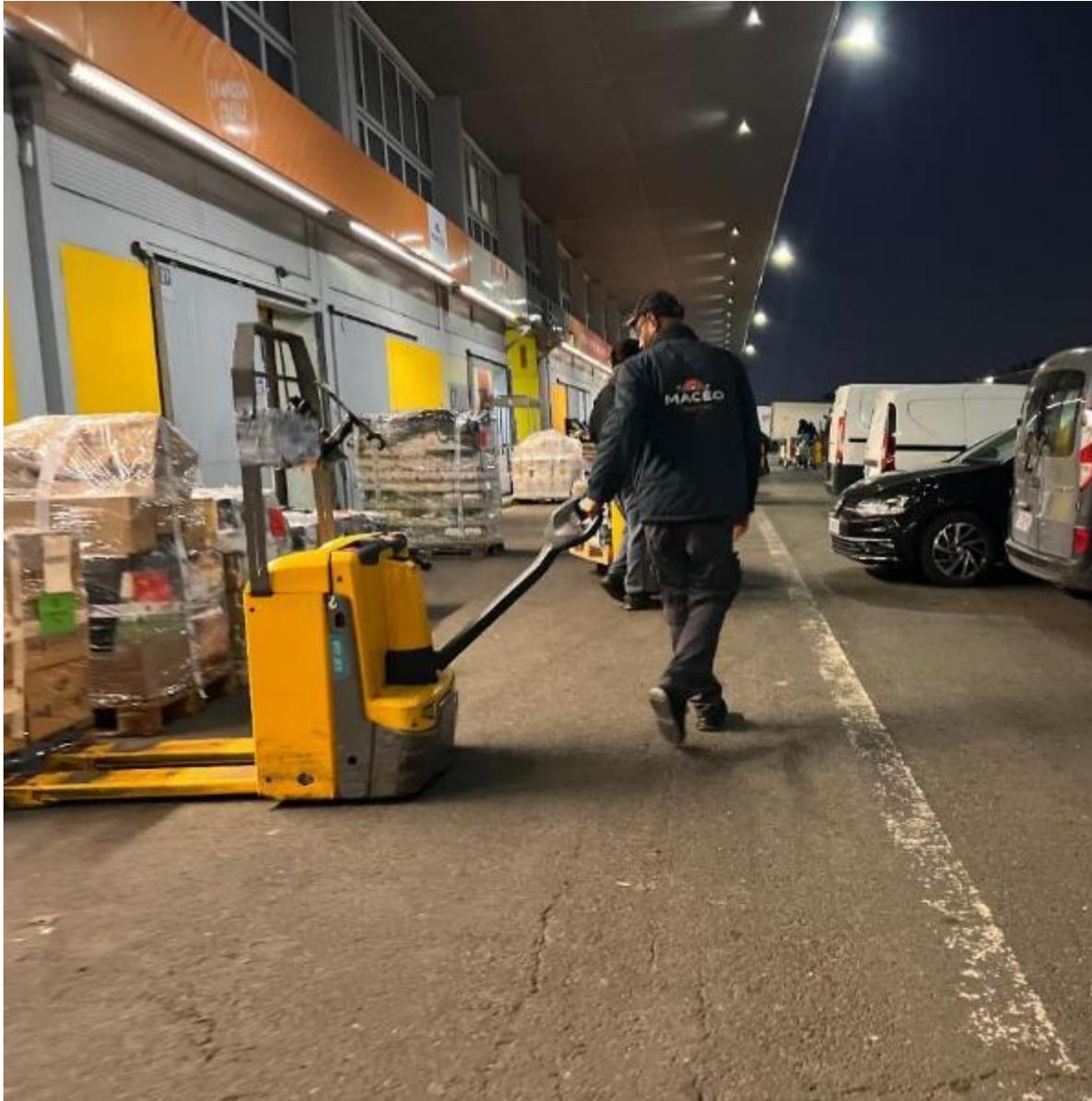


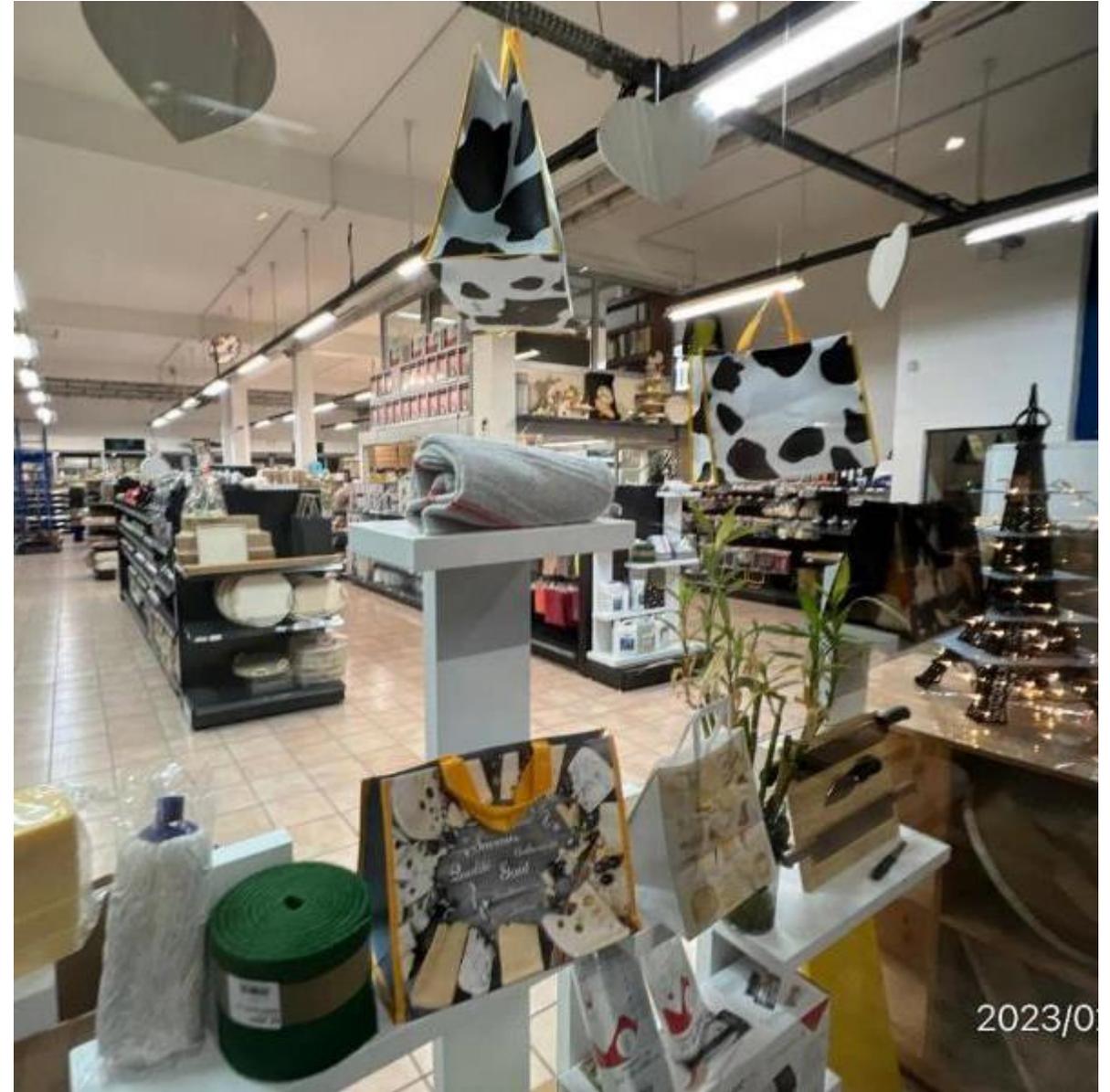
空き店舗も多く閑散としています

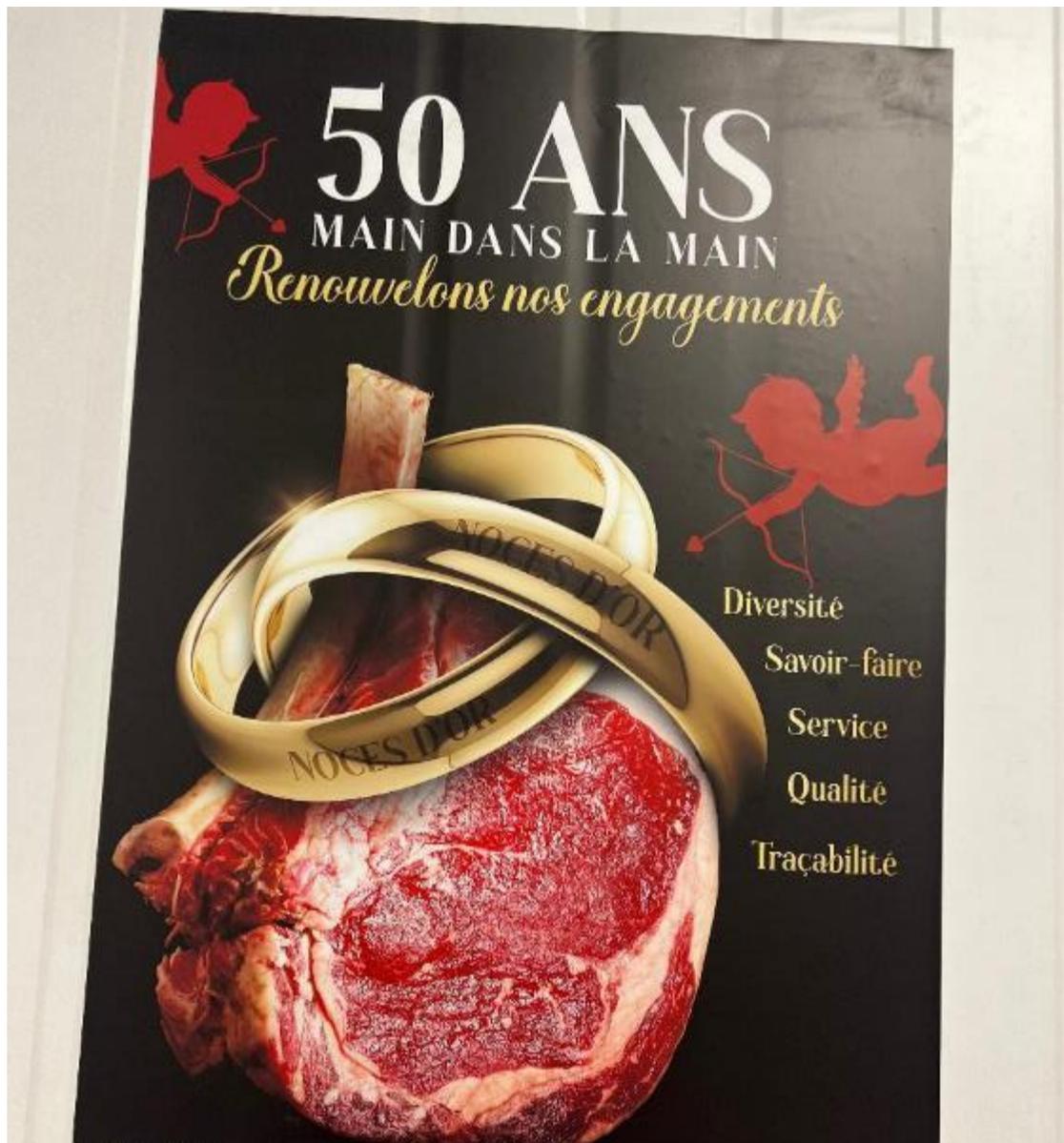












畜産売り場 枝肉だらけ。





場内は「完全閉鎖型」

開けっ放しは無く、
高速シャッターが完備されている。

畜産売り場は、
驚いた事に
ソックダクト方式の冷蔵設備。

だから、
働く人々にとり体感的に優しい。



2023/02/22